

# 神戸大学医学部保健学科

伊藤 光宏

## 神戸大学医学部保健学科の理念

医療・保健・福祉を通して、学問の発展、人類の健康、ひいては幸福に貢献するために、卓越した教育を行うこと



### 教育における力点

1. **専門職の協働**: 保健医療チームにおいて協働し、各専門職の独自性を発揮できる。
2. **リサーチマインド**: 科学的・論理的思考。創造的探求心、研究志向性をもつ。
3. **人間性**: 相互尊重を価値基盤とする医療人 (Health Professionals) に成長できる。
4. **国際保健**: 世界における健康水準の格差を知り、問題意識をもち、貢献できる。
5. **災害保健**: 災害による健康への影響を知り、問題意識をもち、貢献できる。

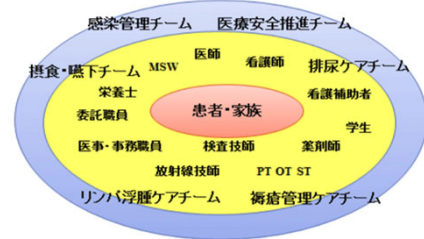
専攻	卒業者数	就職者数	県内就職					県外就職					進学者数	その他
			神大病院	国公立病院	公的機関	私立病院等	民間	国公立病院	公的機関	私立病院等	民間			
看護	78	63	14	13	0	3	0	20	2	7	4	14	1	
検査	43	12	0	0	1	2	0	0	0	6	3	31	0	
理学	20	10	0	1	0	4	1	1	0	2	1	9	1	
作業	20	15	0	1	0	8	0	0	1	4	1	3	2	

令和4年度卒業者の就職先等の状況(単位:人)

## 保健学科全体で取り組む協働カリキュラム

患者中心型医療推進のために多職種 of 医療専門職の協働作業として、医学科・保健学科学生を対象として、多職種医療人協働 (Inter-Professional Work: IPW) を体系的に学習するカリキュラムを実施している。平成21年度からは神戸薬科大学とも連携し、「初期体験臨床実習」としてさらなる充実を図っている。

本取組は、文部科学省の平成19年度「特色ある大学支援プログラム」に保健学科が採択され、その後も継続している。



## 保健学科全体で取り組む海外提携大学との学生交流プログラム

インターネット回線を用いた  
アイルランガ大学との国際カンファレンス



環太平洋諸国との連携による次世代グローバルヘルスリーダー育成プログラム  
～ASEAN 諸国との連携・協働による教育プログラム～

(令和元年度実績) コロナ禍前

学部生 11人 (チェンマイ大学 3人, FHヨアネウム応用科学大学 2人, 台北医科大学 2人, 香港大学 4名)

院生 5人 (チェンマイ大学 1人, マヒドン大学 1人, ガジャマダ大学 1人, チュラロンコン大学 1人, カンボジア公衆衛生研究所 1人)

## 看護学専攻

### 教育目標

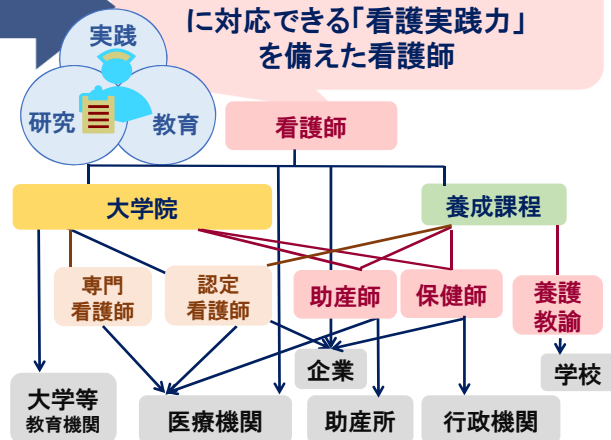
1. 個人・家族・地域・国際社会を対象とし、ヘルスプロモーションをめざした看護を展開できる
2. 科学的・論理的思考をもち、創造的探究心にもとづいた看護実践ができる
3. 保健医療チームにおいて協働し、看護の独自性が発揮できる
4. 研究の成果を看護実践に活用でき、研究への志向性をもつことができる
5. 看護専門職者として生涯にわたり成長し続けることができる



- ◆ 看護師免許取得に特化したカリキュラム
- ◆ (大学院修士課程で助産師・保健師免許取得)

### 卒業後の進路/キャリア

複雑・多様化する保健医療福祉に対応できる「看護実践力」を備えた看護師

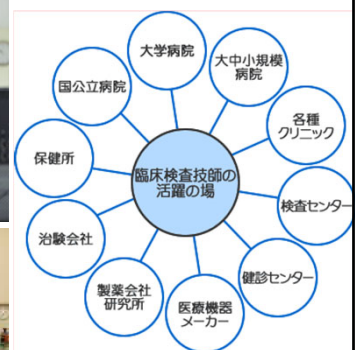


赤: 免許 (国家資格) オレンジ: 資格 (看護協会認定) 黒: 活躍する場

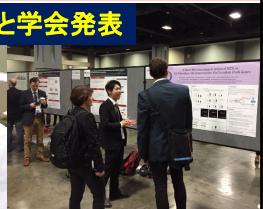
## 検査技術科学専攻の教育目標

1. より高度の専門的知識と検査技術を有する人材の育成
2. 第一線で活躍しうる研究・教育者の育成
3. 高度化・多様化する医療技術分野に柔軟に対応できる人材の育成
4. 人間の生命の尊厳という倫理観を持ち、調和のとれた人材の育成
5. 技術及び機器の研究開発に対応できる人材の育成
6. 国際学术交流に貢献できる人材の育成

## 卒業生の将来像



病院検査部、製薬等一般企業、  
大学等研究職など、多彩な進路



## 理学療法学専攻の教育目標

1. 高度な理学療法の理論と技術を修得し、実践できる
2. 対象者を生活機能から見る視点を修得することができる
3. 対象者や他専門職と相互に信頼し、良好な人間関係を築き上げることができる
4. 科学的視点から思考し、臨床に即した研究の志を持つことができる

### 理学療法士の役割

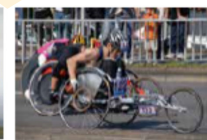
運動療法による正しい動きの指導  
「立つ」「歩く」「起き上がる」などの  
基本動作能力獲得

マッサージ・温熱等の物理療法  
住宅改修・福祉機器などの生活  
自立サポート

障がいと理学療法



スポーツ損傷リハビリや  
障がい者スポーツの援助



スポーツと理学療法 障がい者スポーツと理学療法

災害と理学療法



障がい児・者への関わり

災害時の被災地にボランティア  
を派遣し、生活不活発の改善や  
環境整備を行います

## 作業療法学専攻の教育目標

1. 高度な専門的知識と技術を有した人材を育成する
2. コーディネート能力を有した人材を育成する
3. 優れた教育能力を有する人材を育成する
4. 世界に通用する学際的な研究ができる人材を育成する

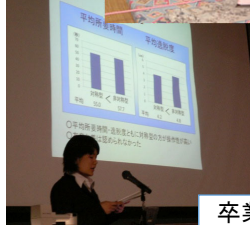
生活活動支援



非利き手  
トレーニング



留学生との交流



卒業研究

- 障害のある方の生活活動を医学的・リハビリテーションの視点から支援します
- 小児から高齢者まで全ての年齢層の方を対象とします
- 国際交流科目を設置し、海外の提携校との学生派遣と受け入れを実施しています
- 医療、保健、福祉、教育、行政、司法など社会のいろいろなシーンで活躍しています



## 神戸大学医学部保健学科の入試



### ■ アドミッション・ポリシー (入学者受け入れ方針) 及び求める学生像

保健学は、心身の健康と疾病や障害に関する教育と研究を通して、人類の幸福と社会福祉の向上に寄与する実践的学問です。神戸大学医学部保健学科は「**真摯・自由・協同**」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として、次のような学生を求めます。

【**人間性**】豊かな教養と高い倫理性を身に付け、自立した社会人として行動する意思のある学生

【**創造性**】自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生

【**国際性**】多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努めようとする学生

【**専門性**】高い倫理観と科学的視点を持ち、医学・保健学を基盤とした専門的知識を身に付け、将来、それぞれの専門領域における指導者として、国際的に活躍するべく努力する学生

## 2023年度入試の種類と入学定員 (募集人員)

学部	学科等	入学定員	募集人員								
			一般入試		特別入試				編入学・ 学士入 学試験		
			前期 日程	後期 日程	アドミッション・ オフィス入試 「志」入 試	推 薦	社会人	外国人			
医学部	看護学専攻	80	70	6	-	4	-	若干名	若干名	×	
	検査技術科学専攻	40	28	10		2		若干名		×	
	理学療法学専攻	20	15	3		2		若干名		×	
	作業療法学専攻	20	15	-		2		3		若干名	×
	小 計	160	128	19		10		3		若干名	×

## 2023年度個別学力検査の変更点

### 1. 看護学専攻のみ、前期日程で面接を行います。

[医療人となるにふさわしい適性](#)をみるために面接を実施します。  
日程は、筆記試験の翌日、[2月26日\(月\)](#)です。  
方法の詳細は追って受験生に連絡します。

### 2. 後期日程(看護、検査、理学)の面接の方針を変更します。

面接を通して、保健医療・健康科学への適性、学修意欲、  
思考力・判断力・表現力、主体性・協働性について評価します。

前期・後期日程とも、面接の結果、[医療人になる適性](#)に大きく欠けると判断された場合は、  
その他の得点にかかわらず不合格とすることがあります。



## 「志」入試（看護学専攻） 定員4名



### 第1次選抜試験

書類審査  
模擬講義・レポート(理系)  
総合問題(理系)

第1次選抜試験:600点

### 最終選抜試験

課題提示(保健・医療・福祉に関する課題)  
発表資料作成(60分) 150点  
プレゼンテーション(15分程度)  
発表内容に関する口頭試問(15分程度)

#### 【評価要素】

知識・技能, 思考力  
判断力, 表現力  
主体性, 関心・意欲  
看護学専攻への適性

+

個人面接(20分程度) 150点

志望理由・入学後の修学計画等

最終選抜試験:300点  
合計:900点

判断力, 表現力  
主体性, 協働性  
看護学専攻への適性



## 「志」入試（検査技術科学専攻） 定員2名



### 第1次選抜試験

書類審査 100点  
模擬講義・レポート(理系) 150点  
総合問題(理系) 350点

第1次選抜試験:600点  
最終選抜試験:600点

### 最終選抜試験

#### 【評価要素】

#### 1. 課題提示・プレゼンテーション・口頭試問 400点

医療に関する課題を当日に提示し、指定された書式にて作成した資料をもとに10分～15分程度のプレゼンテーションを行った後、質疑応答を行います。

- (1) 課題提示・発表資料作成 (9:30～10:30)
- (2) プレゼンテーション・口頭試問 (10:50～12:50)

入学後に必要な、「理解力」  
「問題発見力」「問題解決力」  
「表現力」「判断力」「志望専攻への適正」を評価します。

#### 2. 面接 (13:40～15:00) 200点

15分程度の個人面接で、提出書類を参考に、「医療・臨床検査」に関する関心や考え方、志望理由、入学後の修学計画について質疑応答を行います。

「意欲」「積極性」「理解力」  
「判断力」「表現力」「協調性」  
「志望専攻への適正」を評価します。

「志」入試（理学療法学専攻）定員2名

第1次選抜試験

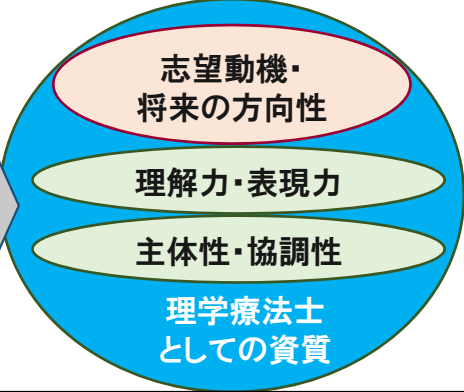
「書類審査」「模擬講義・レポート(理系)」  
「総合問題(理系)」

第1次選抜合格者

最終選抜試験

個人面接(20分程度)  
志望理由・入学後の修学計画・卒業研究等

【評価要素】



第1次選抜試験: 600点  
最終選抜試験: 600点  
合計: 1200点

「志」入試（作業療法学専攻）定員2名

第1次選抜合格発表時

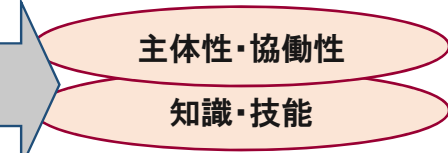
「書類審査」「模擬講義・レポート(理系)」  
「総合問題(理系)」

【評価要素】

最終選抜試験

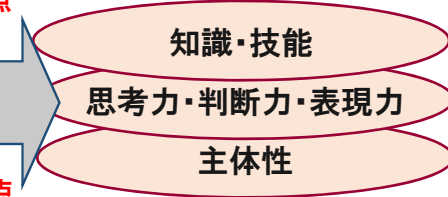
模擬実習: 課題(物を作る、ゲームをするなど)と  
作業課題後の質疑応答  
(60分程度)

第1次選抜試験: 600点



個人面接(20分程度)  
志望理由・入学後の修学計画等

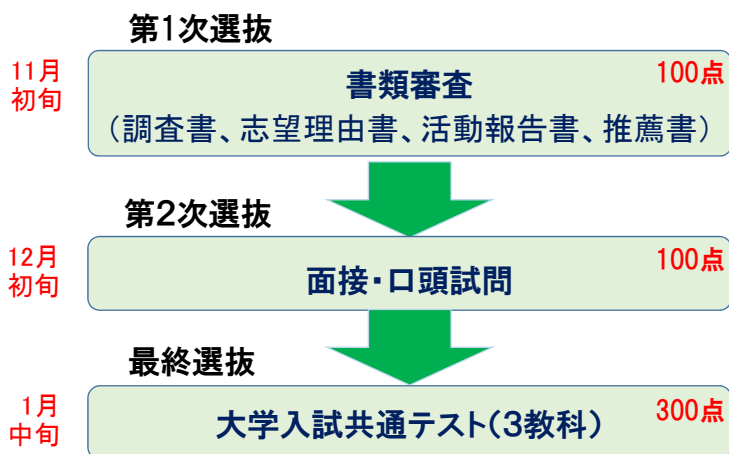
300点



300点

作業療法学専攻は、**学校推薦型選抜**を行います \*

**学校推薦型選抜（作業療法学専攻）定員3名**



学校長からの推薦があり、  
作業療法を学ぶことで  
人の幸福と社会福祉の  
向上に貢献したいと思う  
学生を求めます

令和6年2月13日 発表予定

\* 作業療法学専攻は後期日程入試は実施しません

